

危険物取扱者 [乙種・性消(第3類危険物)・正誤(7)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第3類の危険物には炎色反応を示すものがある。【 】
- (2) カルシウムの火災の消火には、二酸化炭素消火剤が適切である。【 】
- (3) カリウムはアルゴンガスと接触しても発火のおそれはない。【 】
- (4) アルキルリチウムは危険性を軽減するため、酢酸で希釈する。【 】
- (5) 黄リンは淡黄色の固体である。【 】
- (6) 黄リンの比重は1より小さい。【 】
- (7) 黄リンは毒性が極めて高い。【 】
- (8) バリウムは高温で水素と反応し、水素化バリウムとなる。【 】
- (9) ジエチル亜鉛はヘキサンに溶ける。【 】
- (10) ジエチル亜鉛は空気中で自然発火する。【 】
- (11) 水素化ナトリウムは二硫化炭素に溶けない。【 】
- (12) 水素化リチウムは酸化剤として利用される。【 】
- (13) 水素化リチウムの比重は水より大きい。【 】
- (14) 水素化リチウムは皮膚や眼を激しく刺激する。【 】
- (15) 炭化カルシウムの貯蔵容器は密封する。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第3類危険物)・正誤(7)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第3類の危険物には炎色反応を示すものがある。 【○】
炎色反応を示すものがある。
- (2) カルシウムの火災の消火には、二酸化炭素消火剤が適切である。 【×】
二酸化炭素消火剤は適応しない。
- (3) カリウムはアルゴンガスと接触しても発火のおそれはない。 【○】
アルゴンとは反応しない。
- (4) アルキルリチウムは危険性を軽減するため、酢酸で希釈する。 【×】
ベンゼンやヘキサン等で希釈する。
- (5) 黄リンは淡黄色の固体である。 【○】
淡黄色の固体である。
- (6) 黄リンの比重は1より小さい。 【×】
比重は1より大きい。
- (7) 黄リンは毒性が極めて高い。 【○】
毒性が極めて高い。
- (8) バリウムは高温で水素と反応し、水素化バリウムとなる。 【○】
水素と反応し、水素化バリウムとなる。
- (9) ジエチル亜鉛はヘキサンに溶ける。 【○】
ヘキサンに溶ける。
- (10) ジエチル亜鉛は空気中で自然発火する。 【○】
自然発火性を有する。
- (11) 水素化ナトリウムは二硫化炭素に溶けない。 【○】
二硫化炭素に溶けない。
- (12) 水素化リチウムは酸化剤として利用される。 【×】
還元剤として利用される。
- (13) 水素化リチウムの比重は水より大きい。 【×】
比重は0.8で水より小さい。
- (14) 水素化リチウムは皮膚や眼を激しく刺激する。 【○】
皮膚や眼を激しく刺激する。
- (15) 炭化カルシウムの貯蔵容器は密封する。 【○】
貯蔵容器は密封する。